

オヤマソバ

Pleuropteryrum nakaii H. Hara

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少 全ての生育地で生育条件が悪化

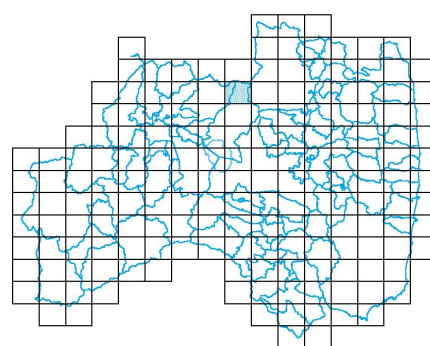
【形態】 高山の砂れき地に生える多年草。茎は太く、下部より枝を張り、高さ15～50cm。葉はやや厚く短い柄があり、卵形から卵状楕円形、先は鋭形か鈍形、基部は広くさび形、長さ4～12cm、幅2～5cm。托葉鞘は膜質、長毛があるかまたはない。花期は7～9月。総状花序は円錐状で密に花をつける。がくは5裂し、長さ約3mm。その果は3稜形で広卵形、褐色で光沢があり、長さ3～3.5mm。

【分布】 北海道アポイ岳、日高や本州中部以北に分布。

【県内の分布、生育状況】 吾妻山山頂の砂れき地のみに生育。登山道付近のものは、踏まれて破損したのもも多く個体数は極めて少ない。

【生育に影響を与えている要因】 踏みつけ

【特記事項】 登山道以外に入らないことが望ましい。



ハママツナ

Suaeda maritima (L.) Dumort.

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少 全ての生育地で生育条件が悪化

【形態】 海辺の砂地に生える1年草。茎は直立し、無毛で、多くの枝を張り、高さ20～60cm。葉は細く長線形、先は普通鋭形、長さ1～4cm、幅1～2mm。茎や葉は緑色をしているが、秋には赤くなる。花期は9～10月。花は葉腋に1～5個、かたまってつく。がくは5深裂し、緑色で裂片は卵形、背部の中央に隆条がある。種子はレンズ形か円盤形、黒色で光沢があり、径1～1.5mm。

【分布】 本州では宮城県以南で九州まで分布。国外では北半球に広く分布する。

【県内の分布、生育状況】 松川浦や新地町三滝川河口に局限して生育。塩沼池。

【生育に影響を与えている要因】 海岸開発、塩沼池の開発、土地造成

【特記事項】 生育地が局限し、少しの環境変化でも絶滅するおそれがある。

